

第6回
テーマ

中学校学力向上対策3つの提言 ～「生徒と共に創る授業」の推進～

生徒と共に創る授業って、どういうこと？



分かる授業、楽しい授業にするには、生徒の声に耳を傾け、困りやつまずきの様相を把握し、それを授業改善に生かすことが必要です。(略)また、生徒が授業に集中し、主体的・協働的に学ぶには、落ち着いて安心して学べる学習集団であることが不可欠です。学びに向かう学習集団をつくるには、教師の確かな教科経営力・学級経営力はもちろん、生徒が望ましい学習集団づくりに主体的に参画することが重要です。

(『中学校学力向上対策3つの提言』の推進にあたって 提言の趣旨より)

「生徒と共に創る授業」の流れのイメージ(例)

STEP1

授業像の共有

STEP2

目標設定(可視化)

STEP3

生徒評価

【別紙様式2】	令和3年度 ●●中学校 学力向上プラン	教職員間での共通理解
学校教育 目標	◆◆の育成	
育成を目指す 資質・能力	言語能力、人間関係形成能力	
今後の 具体的 な取組	【授業改善】	生徒と共有
	(授業改善のテーマ・重点) 授業改善テーマ) ●考えを深め広げ、生かす力を育てる授業の工夫 →魅力ある課題の設定と思考の手立ての提示	
	(取組内容) ★ありて、課題・教材・教材の活用と選択に に設定した授業(学習過程やゴールが 見える)	

(○)自分の意見を持ち、
友だちに伝える



(×)「姿勢をよくする」
「寝ない」

『生徒と共に創る授業』アンケート

・自分たちが設定した目標を意識
して授業に取り組みましたか

4 3 2 1

学校はアンケート
結果から目指す
授業像に対する
進捗を把握

みんなが
発言できる
授業にしたいよね？

STEP1～3でPDCAを回して検証・改善していきましょう

目指す授業像の実現に向けた可視化された学習目標の例①

A中学校の取組(「生徒指導の3機能」の視点で見た例)

A中の **学習の心得3か条**

① 友だちの考えを尊重しよう

- 聴く(受けとめる)
- 自分との違いを見つける
- 評価する

② 自分の考えを持とう

- 読んで、聴いて見て考える
- 書いてまとめる
- 疑問を見つける

③ 自分の考えを表現しよう

- 書く・実技する
- 伝える
- 発表する

学習目標の達成をめざして学び合おう

共感的な人間関係

自己決定

A中学校では、『学習の心得3か条』として、「生徒指導の3機能」を意識した目指す授業像を「学校全体」で共有しています

自己存在感

「学校全体」で目指す生徒像を共有した上で、「各クラス」の実態、願いから目標設定(可視化)をしています

自己決定

自己存在感

自己存在感

授業目標

自分の意見を持ち、発表する。
人の意見を聞き、尊重する。

共感的な人間関係

授業目標

全員が積極的に発言し
全員参加の授業にする

生徒と共に考えた他の学校の学習目標の例

学習目標
先生の発問や質問、発表する人に対して、うなづく/拍手する/返事する/言葉を返すなどの反応をしよう。

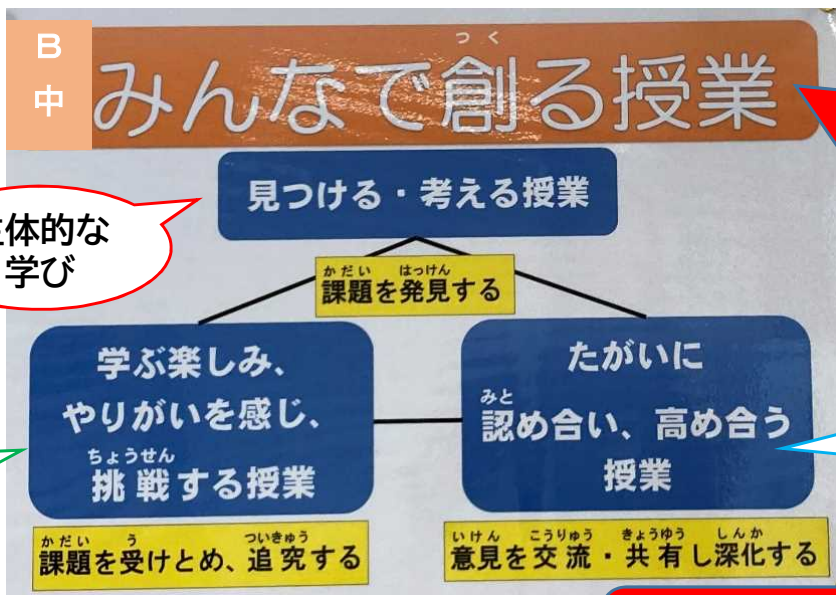
学習目標
はじめあり・意見あり・発表ありで楽しい授業を創りあげる
～私語

3年2組 学習目標
☆自分の考えを積極的に表現しよう
☆お互いの考えを尊重して学び合おう

生徒がつくった学習目標を適宜振り返ることで、生徒による継続的・発展的な授業改善をしていきましょう

目指す授業像の実現に向けて可視化された学習目標の例②

B中学校の取組（「主体的・対話的で深い学び」の視点で見た例）



B中学校では、『みんなで創る授業』として、「主体的・対話的で深い学び」に沿った目指す授業像を「学校全体」で共有しています

主体的な学び

深い学び

対話的な学び

「学校全体」で目指す授業像を共有した上で、「各クラス」の実態、願いから目標設定(可視化)をしています

学習目標

一人ひとりが意見をもち
 仲間の声に反応して、
考えを深める授業。

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

学習目標

考える力の向上

- まずは自分で考える。
- お互いの考えを磨き合う。
- 考えることをあきらめない。

主体的な学び

対話的な学び

深い学び